



12月トピックス

- 酒離れ
- 同窓会ブームの予感
- 私の今年の2大ニュース
- オススメ情報「セミナー&書籍」

酒離れ



皆様、いかがお過ごしですか？この季節は、忘年会やクリスマスパーティーなど外食の誘いが増えますね。そんな席で若年者の酒離れの話をよく耳にします。これは日本に限らない傾向です。欧米人は日本人と比較するとアルコールの分解酵素を多く持つ人が多く、私などは2年前まで「多くのフランス人は食事の際、水代わりにワインを飲んでいる。」と間違った認識を持っていました。現在では、サルコジ仏大統領もお酒を一切飲まないことで有名ですし、50歳以上で毎日飲酒する人は25%、29歳以下の人でわずか3%という調査データもあります。多くのヨーロッパの国々同様、日本でも飲酒事情は変化し飲酒量は低下しています。

飲酒量低下の要因には、規制や経済的な理由が大きいでしょうが、私などは日本の

若年層の飲酒量低下現象には、会社や職場を通じての付き合いが希薄になってきたようで寂しいように感じています。付き合いが希薄というのは、コミュニケーションベタな人が多い気がします。職場で不必要に雑談するのも困りますが、隣に座っているのに、直接話をせず言いにくいことはメールで済ませるようなことです。現在の若年層には、終身雇用にとらわれない考え方や仕事とプライベートの付き合いをハッキリ線引きすることも多く、会社側のほうがコミュニケーション手段に悩みを抱えているように思います。先月も「若年層社員とのコミュニケーションの取り方」について、2タイプの話の伺いました。ある社長は「私は熱いタイプなので、社員とは家族に接するような付き合いをしている。会社外で食事会の席を設け、会社のビジョンや個人の将来の夢をともに語ったりしている。初めはそんな席を嫌がる社員もあるが、そのうちいいですねと変化する社員もあるよ。」と教えて下さいました。一方「私は外資会社出身のせいもあり、社外で社員と酒の付き合いは一切しない主義。その代わり幹部に一任しているし、社員のバースディプレゼントなどを実施してコミュニケーションのきっかけにしている。」とのことです。正解はないが社長のタイプや、社風で決まると知りました。

わが社の場合は、只今若年層はありませんが、食事会の席はワイガヤと話してお互いを良く知り仕事とは違う一面や魅力を知ることのできるコミュニケーションタイムとして大切にしています。ただし、女性の場合は子育てや介護など様々な状況がありますのでランチタイムも有効活用しています。そして男女を問わず若年層の方とともに過ごすとはやはり楽しいものです。どんな席でも若年層の酒離れが、イコール人離れにならないように同席する人が気持ち良く過ごしてもらいたいという心構えで、心掛けています。どうぞ、私がお誘いしても嫌がらずにお付き合いください。

同窓会ブームの予感



わが社はセミナー企画事業もしています。先日、取引先の方から「プライベートですが、同窓会の開催のサポートもできますか？」と相談を頂きました。同窓会もイベント運営としては、同様プロセスのためお手伝いさせていただくことになりました。試しに「同窓会」をグーグル検索したところ、615万件表示されました。検索結果は、代行サービスや、旧友を探すサイト、ホテルの同窓会プランなど様々で、ご時間とお金にゆとりのあるリアイア世代などに向けてビジネスニーズがあることを実感しました。

そして、私自身も先週土曜日、女子高校時代の旧友5人とプチ同窓会を開催しました。卒業後 25 年経過し懐かしい顔ぶれが揃いました。いまだに 3 歳の子供と小学校 1 年生子育て真っ最中で悩む人、高校受験や大学受験を控えている人、来年には長男に孫が生まれる人、子供に手がかからなくなり事業を始めた人などです。年末の流行語大賞になった「アラフォー」世代の私たちは、バブル景気に学生生活を送り、明るい時代に社会人になりました。今でも美意識が高く体系維持にもつとめていて、若々しく素敵な女友達です。そして女性 5 人揃うと、賑やかに話をします。1 次会では、子育てや教育論から、夫婦の恋愛論、過去の学生時代の思い出話をして、2次会のカラオケでは懐かしの J-POP を熱唱し楽しみました。この時ばかりは皆、母や妻、嫁の立場でなく女性として楽しい時間を過ごしました。

四半世紀の時を超え会っても、学生時代に戻った気分でつきあえる友がいることは幸せです。不景気風が吹き殺伐としてくる世の中だからこそ、駆け引きなく同じ時代に成長した懐かしい友に会いたい！と思う気持ちがよくわかります。そして、次回も幹事は私だそうです。

私の今年の2大ニュース

毎年、京都の清水寺で発表される世相を表す漢字は「変」でした。私にとっても大きく変化のあった年でした。好奇心旺盛で行動的な私ですが、新しい課題に挑戦することには恐れが強いようです。経営では、現状維持は衰退という意味であり常に変化を恐れず、意識的に行動を変えていく人間を目指したいと考えています。今年も残り10日ほどになり、ここ数年は1年をとっても短く感じます。そんな私の1年を振り返りました。

第2位 事務所の移転



今年3月、8坪のオフィスに移転しました。それまでは公的支援を受けて優遇制度のあるオフィスに入居していましたので、事務所を開設できたことで、より企業らしくなれたことが大変励みになりました。応接スペースも新たにでき、来客も増えるようになりましたが、大きな誤算がありました。新たなオフィスの賃料は神戸市のベンチャー向け家賃補助制度を利用予定でしたがその予算が縮小されわが社は選考に漏れました。予測していましたが、毎月の固定費負担はじわじわと押し掛かり厳しかったです。楽観主義でなく堅実な事業計画を作る重要性を痛感いたしました。

第1位 人脈のひろがり

今年、私に影響があったことは新たな人と交流が増えたことです。これまでの2年間の人との交流には、サラリーマン時代からの延長と、私と同じように成功を夢見る起業家の方々が主でした。そのため今年は積極的に人脈を広げる2つの交流の場を持ちました。まずは、交流の場として、どのよう組織が良いか検討しました。私の場合は、直接的な利害の結びつきの強い組織よりは知的好奇心を満たしてくれることと、活動時間が限られるため、負担なく自分ペースで参加できることを条件にしました。そしてある方から兵庫県中小企業家同友会を紹介して頂きました。同友会には歴史もあり、経営者の方々が自主運営しており、相互に成長を目指す会という主旨でした。エリアごとに組織されており、業種業態も様々で幅広く経営の知識や交流の機会が多いことを知り3月に入会しました。しかし入会後の半年間、参加す

る会合で他の経営者にお話を伺うと、会社の年商、社歴、社長の人望などをわが社(自分)と比較するたびに自社の規模では時機尚早だったと居心地が悪い思いをするばかりでした。しかし支部会員の方々と徐々に親交を深め気軽に話が出来ようになりますと、同じ会の仲間として対等に私と話をしてくだることがわかりました。そして仕事でも受発注も頂くことに発展するなどにもつながりました。現在では、自己研鑽の場としても気分転換の場としても大切な交流の場となりつつあります。



そして二つ目は、「はやらせ屋セミナー」でおなじみになった「デザインスタジオ はやらせ屋」の活動です。こちらは昨年から準備をして、今年春から販売促進支援サービスを提供しています。「はやらせ屋」の活動は、創設者であり主催の「はやらせ太郎さん」による呼びかけで小さい会

社やSOHO、フリーランスなど異なる組織にいる人が連携で仕事を進めています。連携では双方が対等でそれぞれのノウハウ共有や人脈交流などを促進できることを目指し、私にとっては新たな仕事の進め方として取り組んでいます。お陰様で「はやらせ屋セミナー」は、定員 30 名規模セミナーを 3 回、ワークショップ 4 回の開催を本年実施しました。毎回のセミナーとワークショッププログラムと懇親会を提供する側として大きなプレッシャーはあります。しかし参加の方にはもちろん講師やスタッフにも異業種交流の場として出合いの創出と交流につながることは代えがたい魅力的な活動です。やはり私はイベントが好きなようです。

今年 1 年の私は人脈環境が大いに変化いたしました。しかし、これは私が一方的に考えていることかもしれません。次年度は、相手にとって役に立つ人間になれるよう私自身がさらに自己研鑽し、自社サービス品質も向上させていくことを目標にして活動していきます。

おススメ「セミナー＆書籍」情報

①【通販で黒豆 2 億円！伝説を作った男のリピータ確保術】

日時:2009 年 1 月 28 日(水)18:30～ 会場:神戸国際会館 8 階 貸会場

新春第 1 弾「はやらせ屋セミナー」です。メイン講演には、ネットショップコンサルタント井上敬介氏をお迎えして成功までの悪戦苦闘した実践経験を大公開！そのほか『ミクシイ女王ワーク』、『はやるよ大賞』もパワーアップ！詳細・申込→ <http://www.hayaraseya.com/skillup/>

②【2009 年お金に効く心理学ワークショップ】

経済不況・金融不安のこの時期だからこそっ！おなじみ、心理セラピスト Kannon 高塚富子氏の【 お金・仕事に効く心理学 】2009 年開催予定を UP しました。→ <http://withone.net>
またメルマガも配信を開始しました→ <http://www.mag2.com/m/0000278774.html>

③書籍のご紹介

【ハッピー☆キャリアデザイン～心豊かに生きるための思考・行動・感情～】

「お金に効く心理学講座」にご参加頂いた「寿山泰二氏」が三恵社から書籍を出版され私も読ませて頂きました。「幸福」「人生」「成功」「キャリア」をテーマに「言葉」にこだわって文章化しておられる読みやすい名言集です。アマゾンでチェックしてみてください。

株式会社ウイズワンニュースレター編集部 発行人 迫前美鈴

株式会社ウイズワン

〒650-0022 神戸市中央区元町通 6 丁目 8-10 山端ビル 206 TEL:078-360-6115

【ホームページ制作】 <http://blog.withone-jp.net>

【セールスサポート・セミナー】<http://withone.net>

【さこまえ起業ブログ】 <http://withone.jugem.jp/>

Copyright©2006-2008 WITHONE ,All rights reserved.